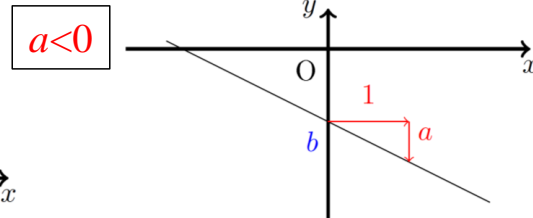
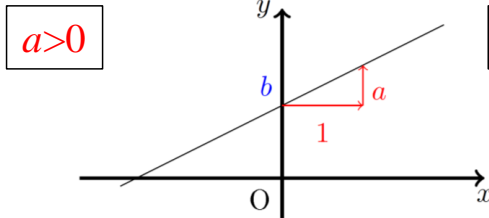


1次関数 [1次関数のグラフ]

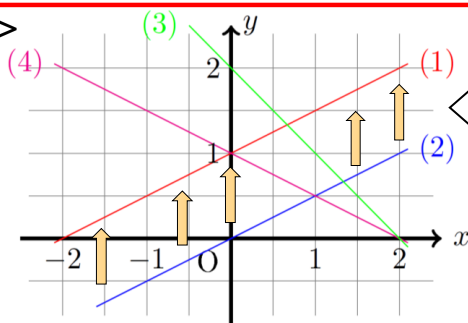
1次関数のグラフ

傾きと切片

- 1次関数 $y=ax+b$ のグラフは
比例 $y=ax$ のグラフ を y 軸の正の方向に b だけ **平行移動** させた直線
- 1次関数 $y=ax+b$ のグラフは **傾きが a** で、**切片が b** の直線
 $-a > 0$ で右上がり、 $a < 0$ で右下がり、 y 軸との交点(切片)の座標は $(0, b)$



<例>



- (1) $y = \frac{1}{2}x + 1$
- (2) $y = \frac{1}{2}x$
- (3) $y = -x + 2$
- (4) $y = -\frac{1}{2}x + 1$

- (1)は(2)を y 軸の正の方向に1だけ **平行移動** ↑
 →(1)と(2)の直線は**平行**
- 注目ポイント
 -傾き(x 方向と y 方向の変化)
 -切片(y 軸との交点)

<確認問題>

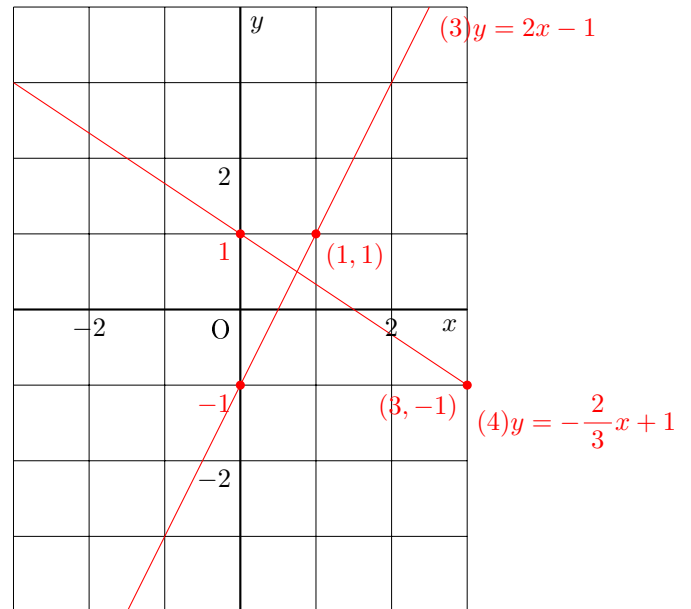
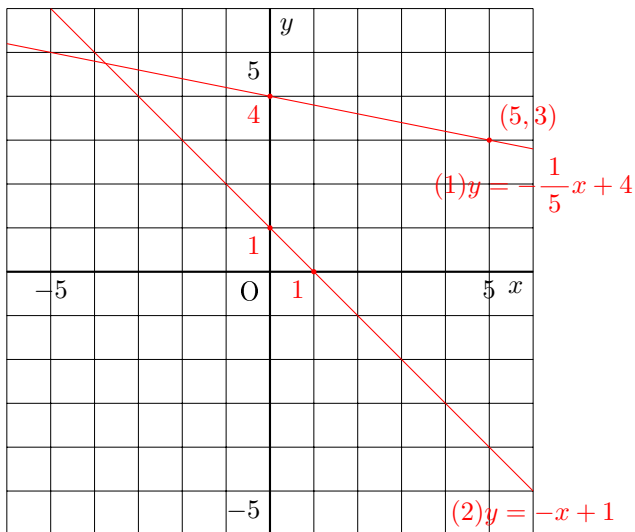
次の1次関数のグラフをかけ。

(1) $y = -\frac{1}{5}x + 4$

(2) $y = -x + 1$

(3) $y = 2x - 1$

(4) $y = -\frac{2}{3}x + 1$



<解説>

直線を引くためには点が2つ必要なので、座標が整数である直線上の点を2つ示す。